

# TAKE NINAGAWA

## 吉増剛造 Gozo Yoshimasu

1939 東京都生まれ

1963 慶應義塾大学 文学部国文学科卒業

### 主な個展

- 2025 「吉増剛造展『アイウエオ、ノ、ア！』」Signal、東京
- 2024 「ネノネ」Signal、東京
- 2023 「フットノート——吉増剛造による吉増剛造による吉増剛造」前橋文学館、群馬  
「普遍言語へ——詩人・吉増剛造の世界展」井上靖記念館、旭川市、北海道
- 2022 「Voix」Take Ninagawa、東京  
「詩人・吉増剛造 芥川龍之介への共感」田端文士村記念館、東京
- 2021 「怪物君」Take Ninagawa、東京
- 2020 「吉増剛造展 Voix」artspace & café、足利市、栃木
- 2018 「吉増剛造」Art Office Ozasa、京都
- 2017 「吉増剛造展」Shumoku Gallery、名古屋  
「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」足利市立美術館、栃木；沖縄県立博物館・美術館、  
那覇；渋谷区立松濤美術館、東京  
「吉増剛造 火ノ刺繡—『石狩シーツ』の先へ」(札幌国際芸術祭 2017)、北海道  
大学総合博物館、札幌
- 2016 「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」東京国立近代美術館、東京
- 2014 「吉増剛造展 水機フル日、.....」テンポラリースペース、札幌
- 2013 「吉増剛造展 怪物君」テンポラリースペース、札幌  
「吉増剛造展 As though Tattooing on My Mind」大和ジャパンハウス、ロンドン
- 2010 「盲いた黄金の庭」BLD ギャラリー、東京
- 2008 「詩の黄金の庭 吉増剛造」北海道立文学館、札幌
- 2006 「白を襲ねる」ワセダギャラリー、東京
- 2005 「A drop of light」Galerie José Martinez、リヨン
- 2004 「吉増剛造展 書物のヴィジョン——生涯は夢の中径——」徳島県立文学書道館
- 2003 「ヒカリノオチバ」青山ブックセンター本店、東京  
「Poetic Spectrum—Images, Objects, and Words of Gozo Yoshimasu」ロケーション・ワン、ニューヨーク

# TAKE NINAGAWA

- 「詩ノ汐ノ穴 Shi-no-shio-no-ana」photographer's gallery、東京  
「一滴の光 1984-2003」城西国際大学水田美術館、東金市、千葉  
2002 「As though Tattooing on My Mind」Galerie José Martinez、リヨン  
「瞬間のエクリチュール」ポロライドギャラリー、東京  
2000 「風ノ身体」大阪造形センター・ギャラリー  
「パランプセストの庭」ロゴスギャラリー、東京; Galerie Claude Samuel、パリ;  
CCI Alsace Eurométropole、ストラスブール、フランス  
1998 「水邊の言語オブジェ：吉増剛造——詩とオブジェと写真」斎藤記念川口現代  
美術館、埼玉  
「鯨、疲れた、.....」ギャラリヴェリタ、東京  
1997 「心に刺青をするように」ギャラリヴェリタ、東京  
1996 「吉増剛造展 百葉 / 界川 / 宇宙函」テンポラリースペース、札幌  
1994 「石狩河口／坐ル」テンポラリースペース、札幌  
1991 「アフルバルヘ」西田画廊、奈良  
「アフルバルヘ」中森花器店、札幌  
「アフルバルヘ」ヴォイスギャラリー、京都  
1990 「火ノ邦ノ螺旋ノ歌」島田美術館、熊本  
「アフルバルヘ」ギャラリー 1956、沖縄  
「アフルバルヘ」ギャラリヴェリタ、東京

## 主なグループ展

- 2025 第15回上海ビエンナーレ「花はミツバチを聞くのだろうか？」  
第36回サンパウロ・ビエンナーレ「すべての旅人が道を歩くわけではない－ヒ  
ューマニティの実践」  
「新しい南画の世界－浜口陽三と後藤理絵、重野克明、染谷悠子、西久松綾、  
吉増剛造－」ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション、東京  
「Blumen」Take Ninagawa、東京  
2024 AWT Focus 2024「大地と風と火と：アジアから想像する未来」(キュレーション：  
片岡眞実) 大倉集古館、東京  
「One Single Book」ギャラリー小柳、東京  
2023 AWT Focus 2023「平衡世界：日本のアート、戦後から今日まで」(キュレーション：  
保坂健二朗) 大倉集古館、東京  
「15」Take Ninagawa、東京  
2021 「Poet Slash Artist」Manchester International Festival、マンチェスター  
2019 MOT アニュアル 2019「Echo after Echo: 仮の声、新しい影」東京都現代美術館  
Reborn-Art Festival 2019「いのちのてざわり」石巻、宮城  
2018 「Sharjapan: The Poetics of Space」Al Hamriyah Studios、シャルジャ

# TAKE NINAGAWA

- 2017 札幌国際芸術祭 2017 「吉増剛造火ノ刺繡 ——『石狩シーツ』の先へ」  
MOT サテライト 2017 春「往来往来」東京都現代美術館
- 2015 信濃の国 原始感覚芸術祭、長野
- 2014 青森 EARTH2014 「第二部 繩目の詩、石ノ柵」青森県立美術館  
「街かど美術館 アート@つちざわ」花巻市、岩手
- 2010 第2回恵比寿映像「詩をさがして」東京都写真美術館  
アートシネマフェスタ奈良前衛映画祭
- 2006 パラチ国際文学祭、リオデジャネイロ
- 2004 「ブラジル・ボディ・ノスタルジア」(with Marylya) 東京国立近代美術館
- 2002 「融点・詩と彫刻による」うらわ美術館、埼玉
- 1996 メデジン国際詩祭、コロンビア
- 1995 「吉増剛造写真展 + 柳澤紀子銅版画展」Yamaha Gallery、浜松、静岡
- 1991 ジャパンフェスティバル1991、国際交流基金、ロンドン  
第21回サンパウロ・ビエンナーレ、Pavilhão Ciccillo Matarazzo
- 1990 「界川游行」札幌

## 受賞

- 2015 日本芸術院賞・恩賜賞
- 2013 文化功労賞  
旭日小綬賞
- 2003 紫綬褒章

## 主な出版物

- 2024 『DOMUS X』コトニ社
- 2021 『Voix』思潮社〔第1回西脇順三郎賞受賞〕  
『詩とは何か』講談社現代新書2641、講談社
- 2019 『裸の common を横切って エマソンへの日米の詩人の応答』(フォレスト・ガンダー・堀内正規との共著) 小鳥遊書房
- 2018 『舞踏言語』論創社  
『火ノ刺繡 吉増剛造 2008-2017』響文社
- 2016 『GOZO ノート』全3巻、慶應義塾大学出版会株式会社  
『Alice Iris Red Horse: Selected Poems of Yoshimasu Gozo』New Directions  
『瞬間のエクリチュール』edition.nord  
『怪物君』みすず書房  
『我が詩的自伝 素手で焰をつかみとれ!』講談社  
『根源乃手』響文社
- 2012 『詩学講義 無限のエコー』慶應義塾大学出版会

# TAKE NINAGAWA

- 2011 『裸のメモ』書肆山田
- 2010 『木浦通信』(樋口良澄との共著) 矢立出版  
『盲いた黄金の庭』岩波書店
- 2009 『静かなアメリカ』書肆山田  
『キセキ——gozoCiné』オシリス
- 2008 『表紙 omote-gami』思潮社 [第五十回毎日芸術賞受賞]
- 2007 『死人』JINYA DISC
- 2006 『機——ともに震える言葉』(関口涼子との共著) りぶるどるしおる 60、書肆山田  
『アーキペラゴ——群島としての世界へ』(今福龍太との対話集) 岩波書店  
『何処にもない木』試論社
- 2005 『Gozo Yoshimasu, a drop of light』 Fage Editions 社  
『In between 11: 吉増剛造 アイルランド』EU・ジャパンフェスト日本委員会  
『アジアの渚で』(高銀との対談集) 藤原書店  
『天上ノ蛇、紫のハナ』集英社
- 2004 『長篇詩 ごろごろ』毎日新聞社
- 2003 『詩をポケットに—愛する詩人たちへの旅』日本放送出版協会
- 2002 『The Other Voice』思潮社  
『ブラジル日記』りぶるどるしおる 32、書肆山田
- 2001 『剥きだしの野の花—詩から世界へ』岩波書店  
『ドルチェ—優しく・映像と言語、新たな出会い』(アレクサンドル・ソクーロフ・島尾ミホとの共著) 岩波書店  
『燃えあがる映画小屋』青土社
- 2000 『ことばの古里、ふるさと福生』矢立出版  
『賢治の音楽室』(宮澤賢治・林光との共著) 小学館
- 1999 『生涯は夢の中径—折口信夫と歩行』思潮社  
『吉増剛造詩集』ハルキ文庫、角川春樹事務所  
『はるみずのうみ—たんぽぽとたんぶぶ』(与那覇幹夫・中川潤・宮川耕次・矢口哲男との対談集) 矢立出版
- 1998 『「雪の島」あるいは「エミリーの幽霊」』集英社 [芸術選奨文部大臣賞受賞]  
『この時代の縁で』(市村弘正との対談集) 平凡社  
『特集・吉増剛造』ハンガー 19、私家版
- 1997 『盤上の海、詩の宇宙』(羽生善治との対談集) 河出書房新社
- 1995 『花火の家の入口で』青土社 [新装版 2001 年出版]  
『石狩シーツ』アンジェリカハウス
- 1994 『続続・吉増剛造詩集』現代詩文庫 116、思潮社  
『続・吉増剛造詩集』現代詩文庫 115、思潮社
- 1993 『木の骨』(城戸朱理との共著) 矢立出版

# TAKE NINAGAWA

- 1992 『死の舟』りぶるどるしおる 8、書肆山田  
『慈悲心鳥がバサバサと骨の羽を拡げてくる』りぶるどるしおる 6、書肆山田  
『八月の夕暮、一角獣よ』現代詩人コレクション、沖積舎  
『ことばのふるさと』矢立出版
- 1990 『螺旋歌』河出書房新社 [第六回詩歌文学館賞受賞]  
1989 『スコットランド紀行』書肆山田
- 1987 『透谷ノート』小沢コレクション 19、小沢書店  
『打ち震えていく時間』思潮社
- 1986 『緑の都市、かがやく銀』小沢書店  
1984 『オシリス、石ノ神』思潮社 [現代詩花椿賞受賞]  
1983 『大病院脇に聳えたつ一本の巨樹への手紙』中央公論社  
1982 『そらをとんだちんちんでんしゃ』(堀口晃との共著) 小学館
- 1981 『静かな場所』書肆山田  
『螺旋形を想像せよ』小沢書店
- 1979 『青空』河出書房  
『熱風 a thousand steps』中央公論社 [歴程賞]  
1978 『吉増剛造詩集 1—5』河出書房  
『新撰 吉増剛造詩集』新撰現代詩文庫 111、思潮社  
『太陽の川』小沢書店
- 1977 『草書で書かれた、川』思潮社  
1976 『わたしは燃えたつ蜃気楼』小沢書店  
1974 『わが悪魔祓い』青土社  
1973 『王國』河出書房  
『朝の手紙』小沢書店
- 1971 『吉増剛造詩集』思潮社  
『頭脳の塔』青地社
- 1970 『黄金詩篇』思潮社 [高見順賞]  
1964 『出発』新芸術社

## テレビ、ラジオ、映画への出演

- 2022 「眩暈 VERTIGO」(監督:井上春生)  
「背 吉増剛造×空間現代」(監督:七里圭)  
2021 「SWITCH インタビュー 達人達」NHK  
2018 「幻を見るひと」(監督:井上春生)  
2016 「断食芸人」(監督:足立正生)  
2006 「島ノ唄 Thousands of Islands」(監督:伊藤憲)  
「柳田國男 詩人の魂」NHK

# TAKE NINAGAWA

- 2002 「文学と風土 詩をポケットに」 NHK  
2000 「アーティストたちの挑戦 二重露光・驚きの映像が生む詩」 NHK  
1998 「四国八十八か所」 NHK  
「ブラジル・赤土とジャカランダへの道—世界・わが心の旅から—」 NHK  
1997 「ETV 特集・漂泊を生きた詩人たち」 NHK  
「未来潮流 羽生善治・吉増剛造 盤の海、詩の宇宙」 NHK  
「ETV 特集・知られざる俳句王国ブラジル」 NHK  
1996 「映像作家 ジョナス・メカス～OKINAWA・TOKYO 思索紀行」 NHK  
「現代詩実験室」 NHK  
1985 「あじさいならい」（監督：鈴木志郎康）

## シアター公演

- 1998 立川国際芸術祭「Gozo-Opera : san' nai」国際交流基金、東京